

—姿勢評価システムはどのようにして開発されたのでしょうか？開発の経緯をお話いただけますか？

「BIOTONIXは創業者のギモンド博士がつくった「TONIX」という名前のクリニックがスタートです。私たちは、健康を「Posture(姿勢)」「Nutrition(栄養)」「Fitness(運動)」という三つのキーワードからアプローチしており、患者さんの姿勢における筋骨格の歪みをBiomechanics(生体力学)理論をベースに計測し、その結果をもとに一人一人にあったエクササイズを指導しています。当時のクリニックには、巨大な分度器のように角度を測る線が描かれた壁があって、それを利用して患者さんの姿勢の歪みを測っていたのですが、測定時間が長く、分析には3日を要しました。患者さんの体に直接水性ペンで線を描いて、手作業で測定していましたから、患者さんも大変だったでしょうね(笑)。」

—それは大変そうですね！コンピューター化がBIOTONIXを変えたのではないですか？

「その通りです。BIOTONIXの転機は、1996年のアトランタ五輪でした。ギモンド博士はアイスホッケーやF1ドライバーなどのプロ選手や、オリンピック選手などトップレベルのアスリートもたくさん診ていたのですが、アトランタ五輪ではシンクロナイズドスイミングのバルセロナ大会メダリスト、シルビー・フレッシュ選手を診ていました。大会直前に腰を痛めたシルビーは、ギモンド博士の指導でエクササイズに取り組んでいたのですが、その様子を見ていたオリンピック協会のドクターがギモンド博士を協会主催の国際会議に招聘したのです。そこで発表した我々の取り組みは、数百社からの引き合いをいただきまして…。その時、製品化する必要に迫られたのです。それも英語版で(ケベック州の公用語はフランス語)。当時「TONIX」は25店舗まで拡大していましたが、我々はシステム開発とクリニック運営の両立は困難と判断し、クリニックを売却してIT企業へと業態転換を図りました。2000年には、社名を現在の「BIOTONIX」に改称しました。」

—なるほど。モントリオールのクリニックから、IT企業として世界進出したわけですね。コンピューター化された「BIOTONIXシステム」は、どのような姿勢評価システムに進化したのでしょうか？

「姿勢評価における計測ポイントは変わりませんが、2000年から計測にデジタルカメラを使うようになってずいぶん楽になりました(笑)。「BIOTONIXシステム」は、デジカメで撮影した画像から計測ポイントの位置関係をデータ化し、そのデータをカナダ本社にあるサーバーで瞬時に分析レポートに自動変換するというものです。分析レポートは、姿勢評価とその評価に基づく筋骨格の歪みを矯正する10週間のエクササイズプログラムで構成されています。エクササイズは特定の筋肉の強化とストレッチの組み合わせが基本で、個々の状態に応じて220万通りの組み合わせの中からチョイスされます。データの受け渡しにはインターネットを活用し、検査を実施したクリニックでは、検査の数分後に分析レポートをプリントアウトして、患者さんにその場で説明することができるのです。インターネット技術を基盤

としたシステムにして、現在ではカナダはもちろん、米国、オーストラリア、イタリアなど、スポーツ科学の発展した数々の国でご利用いただいております。システムの利用実績は20万件を超え、日本でも年間10,000件以上ご利用いただいております。」

—各国では、「BIOTONIXシステム」はどのように利用されているのでしょうか？

「FITNESS が盛んな北米では、「フィット・プリント」というブランドでフィットネス・ジムやプライベート・トレーナー向けにシステムを提供しています。美しい姿勢と健康な体を、エクササイズを通してつくるというものです。米国では、「バイオ・プリント」という整形外科向けのプログラムもあります。手術前の準備としてエクササイズが提供されています。日本では、2002年にカイロプラクティック業界向けに「カイロ・プリント」というブランドでシステム提供をスタートしました。アジャストメント(矯正)した筋骨格のバランスを安定させるエクササイズ・プログラムは、カイロプラクティックとの相性がとてもよいと考えています。整骨院業界向けには、「ケア・プリント」というブランドでシステム提供を始めました。BIOTONIXのエクササイズ・プログラムは、基本的に特定の筋肉のストレッチと強化の組み合わせですから、柔道整復師の手法治療で患者さんの緊張した筋肉を緩めてあげて、ストレッチしやすい状態を作っておくことが効果的だと考えます。」

—業態によって、いくつかのブランドがあるようですが、具体的にどのような違いがあるのでしょうか？

「姿勢評価方法もエクササイズ・プログラムもベースは共通していますが、アウトプット、つまりプリントアウトされるレポートがそれぞれの業態にあったものにカスタマイズされています。例えば、「フィット・プリント」はトレーナーが、「カイロ・プリント」はカイロプラクターがそれぞれ患者さんを指導しやすいように表出されます。導入後間もない「ケア・プリント」のレポートについては、まだまだ改良の余地があると考えていて、今後、整骨院での導入が進んで、柔道整復師の方々からたくさんのご意見を頂戴し、それをレポートに反映できることを期待しています。」

—なるほど。それぞれの業態の先生方が患者さんに指導しやすいように工夫されているわけですね。レポートという「目に見える」形でのアウトプットも有効ですね。

「そこがポイントです。患者さんは先生方の指導を長期間にわたって覚えているわけではありませんから、指導内容をレポートという形に残したのです。エクササイズは患者さんが一人でもできる簡単なものですが、10週間のエクササイズを通して患者さんの状態がどのように変化しているかをチェックしたり、エクササイズを継続できるようサポートしたりという患者さんとのコミュニケーションは不可欠です。レポートはそうしたコミュニケーションを促進するツールになるのです。」

—エクササイズを実施した日はレポートにチェックして、来院して先生に診てもらおうというわけですね。ところで、「BIOTONIXシステム」の今後の展開をお話いただけますか。「カナダでは、企業が従業員のケアに「BIOTONIXシ

テム」を活用する試みを始めています。あるビール会社では、ビールを運ぶドライバー全員の姿勢評価を行いました。ほぼ全員、骨盤が前方にズレる、頭部が前方に出る、アクセルを踏む右足が外側に旋回するといった歪みが認められ、特に腰・背中・首に痛みを訴えていました。エクササイズを行うことでドライバーの腰痛は激減し、生産性が向上したという結果が得られました。また、長時間同じ姿勢を続けるという点ではオフィスワーカーも同じで、ある保険会社では欠勤しがちだった従業員が、エクササイズにより症状が改善し、会社を休まなくなったという事例も報告されています。このように、最近では企業とのタイアップによる「BIOTONIXシステム」の活用事例が増えています。」

—大ヒット映画を影で支えたということも伺いましたが…。「そうなんです！『スリー・ハンドレッド』をご覧になったかしら？筋骨隆々のアクターたちの、均整のとれた美しいカラダづくりに貢献したのもBIOTONIXのエクササイズ・プログラムなんですよ。」

—それはスゴイ！BIOTONIXが重視する「姿勢」「栄養」「運動」という健康の三つのキーワードは、私たちの生活に深く関係する要素ですから、「BIOTONIXシステム」の今後の展開が楽しみです。

「ありがとうございます。これまでもカナダや米国の複数の大学と、「姿勢とスポーツパフォーマンス」や「姿勢と妊娠」など、数多くのテーマの共同研究を進めてきました。そして、ギモンド博士の専門分野である「姿勢と性格・心理」や、私の専門分野である「栄養」という側面からも健康というテーマを取り扱っていきたくと考えています。また、個人的には、これまで培ったノウハウを提供する場として、自分のクリニックを持つことにも関心が出てきました。もちろん、20年かけて作り上げた「BIOTONIXシステム」を世界各国で普及させたいと願っています。日本のみなさん、よろしくお祈りします！」

—すばらしいシステムですから、日本でも普及するといえますね。来年3月に開催予定のBIOTONIXセミナーで、またお会いできることを楽しみにしています。

「ありがとうございます！来春はギモンド博士も連れてきますよ。」

Interview



Nathalie Pelletier
B.Sc. Nutrition, B.Sc. Biochemistry
BIOTONIX Inc. Vice president - Sales and marketing

ナタリー・ペレティエ
栄養学学士、生化学士
BIOTONIX 副社長 販売マーケティング担当

スポーツパフォーマンスと科学の関係へ高い情熱と興味を抱き、スポーツパフォーマンスに有効なファクターを専門的に研究する事を志した。オタワ大学で生化学士号を取得後、マギル大学にて栄養学学士号を取得した。1987年からBIOTONIX創始者であるDr. Sylvain Guimondの元で栄養士としての知識を活かし、栄養分析ソフトウェアとプログラム開発を手掛けた。1997年、BIOTONIX販売マーケティングディレクターに就任。科学分野での経歴と持ち前の行動力はBIOTONIXが「healthソリューション界を牽引する支えとなった。BIOTONIXソフトウェアとプログラムを通し、一人でも多くの人へ運動と健康的な栄養摂取の重要性を伝える事が彼女の最終目標である。



モントリオール(カナダ、ケベック州)にあるBIOTONIX Inc.は、インターネットを基盤とした技術を用いて、生体力学に基づく姿勢の歪みの分析と個々のニーズにあった矯正運動プログラムを作成するシステムを開発した。カナダ、米国をはじめ世界各国で導入されている「BIOTONIXシステム」は、スピーディーさ、安全性、正確性が高く評価され、特に各種スポーツ協会や大学などの研究機関が推奨し、トップアスリートだけでも1,000名以上に利用されている。カイロプラクティック業界への導入が先行した日本においては、整骨院でも同様に患者の健康増進に役立つという。BIOTONIX創業時からの一員で、システム開発に尽力されたナタリー・ペレティエ副社長に、BIOTONIXシステム開発の経緯と今後の可能性を聞いた。

Scene2 ナタリー・ペレティエ

科学的な姿勢評価で 健康をサポート